

事務局報告

2016年度事務局は創立65周年という大きな節目の年を迎えるにあたり、「縁の下の力持ち」となるような運営を心掛けてまいりました。至らない点もあり、メンバーの皆様にご迷惑をおかけしましたが、多くのご協力をいただき節目の年を乗り越えることができました。ともに地域のために汗を流した他団体・地域住民の方々、当青年会議所のこれまでの運動を支えてこられたシニアクラブ先輩諸兄、そして一丸となって周年という大きな山に挑み、見事に登り抜いた現役メンバーに感謝申し上げます。この地域を巻き込んだ運動の波は、次なる70周年に向けて郷土を明るく豊かに変革していくものと確信しております。

本年度事務局の担当として、4月には会員交流事業行いました。能代青年会議所の活動エリアである二ツ井地域へもこれまで以上に積極的に関わっていかうと考え、きみまち阪での花見会を実施しました。新入会員からも参加をいただき、大変有意義な交流事業を行うことができました。そして6月には秋田ブロック協議会の褒賞審査会に参加し、能代青年会議所の取り組みを広くブロック内へ発信し、また他LOMの精力的な運動を学ぶ機会となりました。3年連続の大塚賞受賞を成し遂げることはできませんでしたが、非常に有益な審査会となりました。さらに10月には毎年参加している黒松並木剪定に参加し、国道7号線上の黒松の手入れを行いました。恒例の行事ですが、今年は大人数で精力的に剪定作業を行い、能代青年会議所の取り組みが運動の発端となった事業に多くのメンバーで触れ合うことができました。また11月には例年開催している「職業講話」を能代第二中学校からのご要望により実施し、理事長並びに多くのメンバーが子ども達へ働くことの意義や大切さを伝えることができました。このように地域から求められ事業を展開していく姿の中に、地域から必要とされる青年会議所の在り方を示すことができたと感じております。さらに、12月には毎年恒例の卒業式を執り行いました。本来であれば今年卒業を迎えることができるはずだった塚本尚夫君の席も用意し、志を同じくする仲間達との絆を改めて実感する機会とすることができたと感じております。2名の卒業生の方々からは現役生へ自身の反省から後輩へのアドバイスまで、暖かいお言葉をいただくことができました。この熱い想いは次年度以降、現役メンバーが活躍する原動力となるものと信じます。また、京都會議や東北青年フォーラム、全国大会など各種大会には多くのメンバーにご参加いただき、大会を盛り上げると共に能代青年会議所の勇姿を示すことができたと感じます。

最後に、この一年事務局の担いを全うすることができましたのも、監事をはじめ、多くのメンバーからの支えやご協力のおかげだと思っております。また、諸会議の運営等で裏方に徹して頑張ってくれた両次長にも感謝申し上げます。スタッフ一同、心より御礼を申し上げ年間事業報告とさせていただきます。

事業報告

(日付)	(内容)	(会場)	(公益性)
・4月24日	会員交流事業	二ツ井きみまち阪	
・6月14日	褒章へのエントリー	さきかけホール(秋田市)	
・6月・10月	黒松並木剪定・黒松の手入れ	7号線沿い	○
・8月3・4日	天空の不夜城への参画	101号線沿い	
・10月18日	職業講話	能代第二中学校	○
・12月17日	12月定例会「卒業式」	プラザ都	
・通年	事務局運営と財政管理と庶務全般		
・通年	三役会議・理事会議の設営と運営及び資料作成		
・通年	渉外事業への参画と事業対応		
・通年	出向者への積極的支援		
・通年	日本JCへの対応		
・通年	自主独立の信念をもった会員拡大運動		

決 算

《項目》	《金額》
・12月定例会「卒業式」	19,872円
	合 計 19,872円